

カラー作品
ワイドスコープ

〈燃えよドラゴン〉に続く
猛烈アクション第2弾!

嵐を呼ぶ ドラゴン

HEROES TWO

極悪非道の焼き打ちに
風雲渦まき少林寺!
怒りに燃える2匹の竜(ドラゴン)
必殺・飛竜 3段蹴りで
天を切り裂き嵐呼ぶ!

実力No.1 / ホスト ブルース・リーの最右翼

チェン・カンタイ

華麗なるワザ師 / 人気No.1の若きドラゴン!

フー・シェング

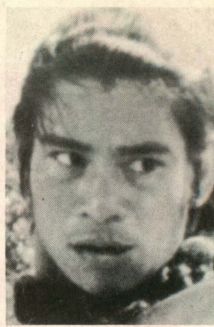
空手映画の第一人者

巨匠 **チャン・チェ** 監督

ショー・ブラザース作品 / ワーナー・ブラザース映画

From Warner Bros. A Warner Communications Company

中実力No.1ノきびぎびした動きと鋭い技で世界を狙う炎の竜ノ

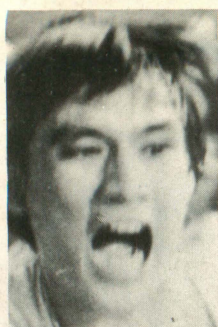


チエン・カンタイ

カラー作品 ■ ワイドスクープ

嵐を呼ぶ ドラゴン

フー・シェング



中実力No.1ノ華麗な技と甘いマスクで女性に凄人気の若き竜ノ

解説

「燃えよドラゴン」で、完全に空手ブームを作りあげたワーナー映画が、その後10数本の空手映画の中から、これならフアンの期待に応えられるものとして、選ばぬいた作品がこれである。ブルース・リーの死後、洋画配給各社は、2

通りの空手映画の配給に力を入れ始めた。1つは、この作品のような本物の技というものに重点を置く香港製の空手映画であり、もう1つはアメリカ人で空手の心得のあるスターを使った見せる空手の面白さに重点を置いた、ハリウッド製の空手映画である。もともと後者の空手映画製作を手がけているのは現在のところワーナ

1映画だけである。

一般に香港製の映画は技術の拙劣さ、場面の汚ならしさなど、目のこえた日本のフアンには物足りないものが多いが、しかしすべてがそうではない事はこの作品によってわかつていたいただけるだろう。

この映画は、ブルース・リーを世界に送り出したワーナー映画が、ポスト、ブルース・リーを選び出すために、現在、香港映画界を代表するNo.1監督、チャン・チュエのメガホンのもとで、人気・実力No.1を争う2大スター、チエン・カンタイ、フー・シェングが異例の競演を敢行したという、いわくつきの物。

剛(力)のチエン・カンタイ、柔(技)のフー・シェング、まったくタイプの違うこの2大

人気スターは、ポスト・ブルース・リーの座を賭けて日本のフアンの審判を待つ事になる。物語は清軍による無法な少林寺本山の弾圧、焼き打ちという歴史上の事実に基づいており、その後の少林寺を背負って立った英雄たちの活躍を、次から次へのアクションの連続で描いている、まさに面白さ・迫力ともに充分の猛烈空手アクションである。

なお、タイトル・バックで2人の見せている型は少林寺の秘技「5拳の型」である。
(上映時間 1時間44分)



ストーリー

物語は清朝の兵士たちが少林寺を焼打ちした二日目からはじまる。少林寺拳法の修業者の一人フン・ヒグン(チエン・カンタイ)は、重傷を負いながらも夜にまぎれて寺を脱出、広東へとむかった。

清の將軍、チエン・カン(チュ・マ)はフンの逃亡に気づいていた。そして副官のテエ・シャン(ウォン・シン)や、配下のマイ・シン(フエン・イ)、シャン・チャオ・フエイ(フエン・コーア)などに追跡を命じた。

やがてフンはマイや手下たちに見つかかり、激しい戦いになったが、次々と追手を倒していった。手をやいたマイたちは偶然にも、少林寺本山に向う、若い修業者、フオン・サイヨ(フー・シェング)を知り、彼をだまして、同門のフンをとらえるようにしむけるのだった。フオンはそうとも知らず、孤軍奮闘するフンを暴漢と信じ、彼の型を見て同門と知って戦意を失っ

たフンを、叩きのめしたあげく、兵士たちに逮捕させてしまった。

清朝政府はとらえたフンを、ひそかに大金持ホー・チュウ・チュン(チャン・ナン)の邸に監禁、拷問によつて少林寺の他の弟子たちの行方をきき出そうとした。しかしいくら手ひどい拷問をうけても、フンは決して口を割ろうとはしない。

ある日、副官のテエ・シャンが小さな料理店で酒を飲んだ。そして店主のワン夫人(フアン・シン)の美しさに心をうばわれ、うっかり、フン逮捕のてんまつを話してしまった。少林一派の同調者であるワン夫人は、さっそくそれをやはり親派のリ・シイ・クワン(ウ・チーシン)に伝えた。

季をはじめ他の親派たちが、フンを逮捕させるモトとなったフオン・サイヨを非難したのはいくまでもない。話を聞き、事情を知って頭へきたフオンは、単身、敵地に乗りこんでフンを助けるという出たが、一同はいきり立つフ

アンを引きとめた。テエ副官は女に目がないから、ワン夫人を餌にすれば、ことがずつとスムーズに運ぶというのだ。夫人の協力で、フオンはなんとかフンの牢屋にもぐり込めたが、やはり一人での救出はムリだった。

やむなくフオンは仲間といつしよに、フンの牢まで地下道を掘る計画を立てたが、石壁にはばまれて、思うように進めなかった。一方、チエ將軍たちも指をくわえていたわけではない。フンを公衆の面前へ引き出して処刑することに。もしフアンたちが助けに来れば、一網打尽という計算だ。

地下道は牢には通じなかったが、フンの足鎖をゆるめる役には立っていた。おかげでフンは鎖でテエをなぐり殺し、地下牢からの脱出に成功した。そのあと、地上へ出た彼はチエ將軍に決闘をいどみ、フオン、リなども加わって壮絶な肉弾戦を展開、ついに將軍や部下たちを一人のこらず葬むってしまった。

4月13日よりロードショー

新宿 ロマン劇場
(351) 2941

鑑賞券550円《一般700円》絶賛発売中

日・祝 10:45 平日 12:50 2:55 5:00 7:05

伊勢丹ヨコ